

DTVP50A

取付説明書

090003-2949B700

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。

本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。

「取扱説明書」、「取付説明書」をお読みにになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

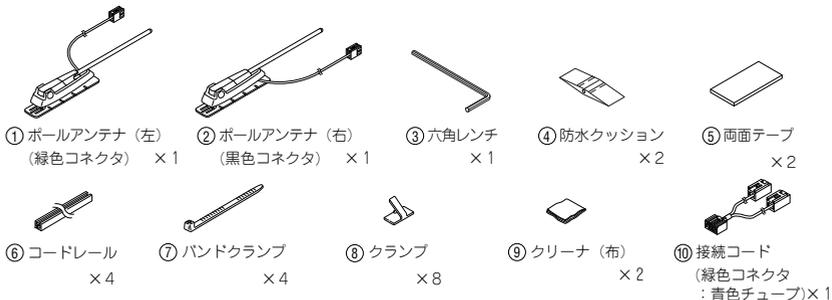
取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

もくじ

取り付けの前に	構成部品	2
	取り付け概要図	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
接続について	システム接続例	4
取り付けについて	ポールアンテナの取り付け	5

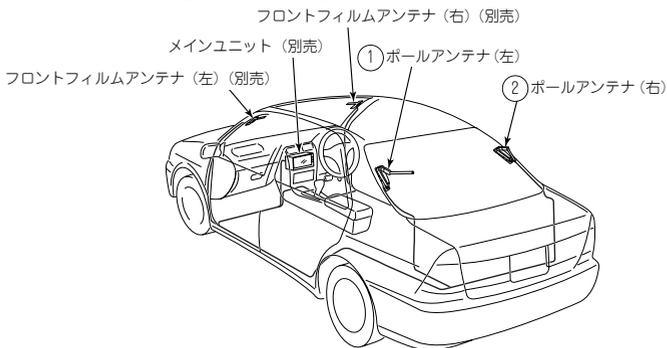
構成部品

作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

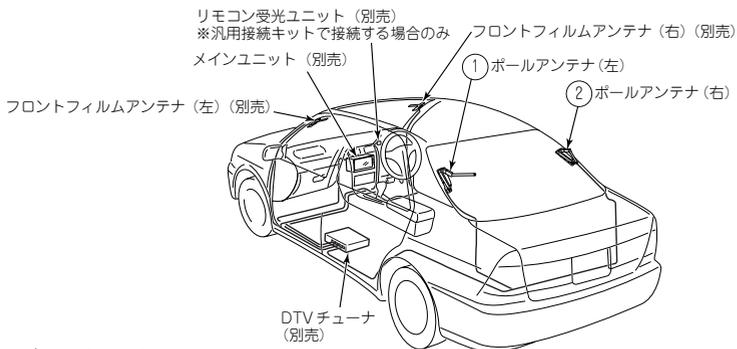


取り付け概要図

ーフルセグ内蔵AVNと組み合わせる場合ー



ー地上デジタルTVチューナと組み合わせる場合ー



👉 アドバイス

- 別売のメインユニットおよびDTVチューナに同梱されているフロントフィルムアンテナについては、必ず取り付けを行ってください。
- 地上デジタルTVチューナと組み合わせる場合は、必ずメインユニット側でアンテナ設定の切り替えを行ってください (汎用接続キットで接続する場合は、不要です)。
設定を行わない場合、適切な受信感度を得ることができません。設定方法については取扱説明書を参照してください。

安全に正しくお使いいただくために

- この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なることを下記の表示で記載しています。



アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと知っておくと便利なること、知っておいていただきたいこと

警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用すると、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止めます。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがあるなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取り・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

注意

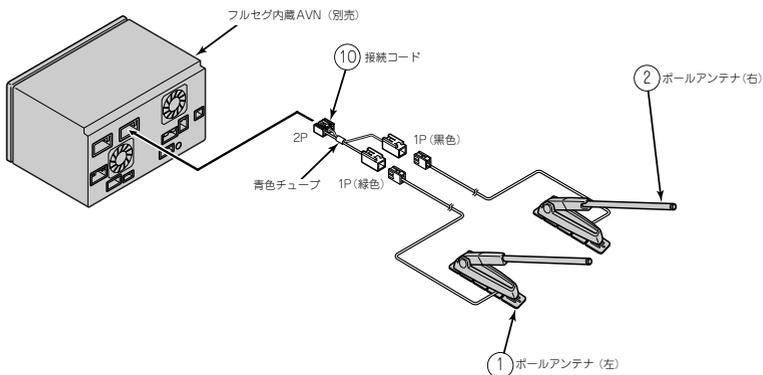
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることが危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 本機の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のぬし部分、シートレール等の可動部にコード類を巻き込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。
- ケーブル、コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。表面処理を傷める原因となります。

システム接続例

警告

- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

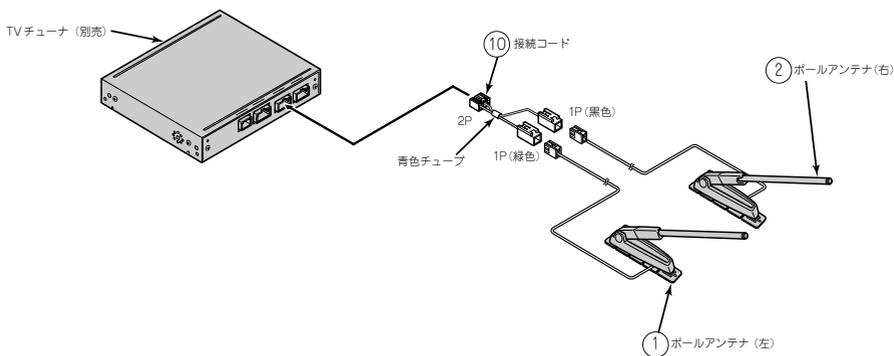
ーフルセグ内蔵AVNと組み合わせる場合ー



アドバイス

- メインユニットに接続する前に各ユニットの取付説明書も参考に取付及び配線を行ってください。
- リアポールアンテナ部以外の接続は、メインユニットの取付説明書を参照してください。

ー地上デジタルTVチューナーと組み合わせる場合ー



アドバイス

- 地上デジタルTVチューナー汎用接続キットとの組み合わせもポールアンテナ部は同様の接続となります。ポールアンテナ部以外の接続は地上デジタルTVチューナー本体の取付説明書を参照ください。
- 必ずメインユニット側でアンテナ設定の切り替えを行ってください（汎用接続キットで接続する場合は、不要です）。

ポールアンテナの取り付け

警告

- アンテナエレメントが車幅からはみ出さない場所、また、車の前後からはみ出さない場所を選んで取り付けください。歩行者等に接触して思わぬ事故も原因となることがあります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。
- アンテナ取付ブラケットは、取付面が全面密着するように貼り付けてください。接着面積が少ないと走行中はがれる危険性があります。

アドバイス

—取り付け場所について—

- アンテナは必ず車両外側のリアガラスに取り付けてください。
- 湿気が多い時は、野外での取り付けはしないでください。
(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。)
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着面を暖めてから貼り付けてください。

—取り付け・取り扱い上のご注意—

- アンテナ本体及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。(変質したりすることがあります。)
- 洗車の際にはアンテナ本体をはずしてください。(③六角レンチを使用してください。元に戻す際は、ボディに傷を付けないよう保護をし、ゆるまないよう確実に固定してください)やむを得ずアンテナ本体を取り付けた状態で洗車をする場合は、車室内への水の侵入を防ぐために配線部への直接放水は避けてください。
- アンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となることがあります。
- ポールアンテナは、一度貼付けた後はがしての再貼り付けはできません。また、作業中の貼り直しをくり返すとポールアンテナのノリの粘着力が弱くなりますので行わないでください。
- 取付位置表面の汚れ、水分、油分などをよく拭きとってから取り付けてください。

—取り付け後—

- 走行してもさしつかえありませんが、24時間は絶対に水をかけたり、雨にあてたり、引っ張る等無理な力を加えないで、自然放置してください。

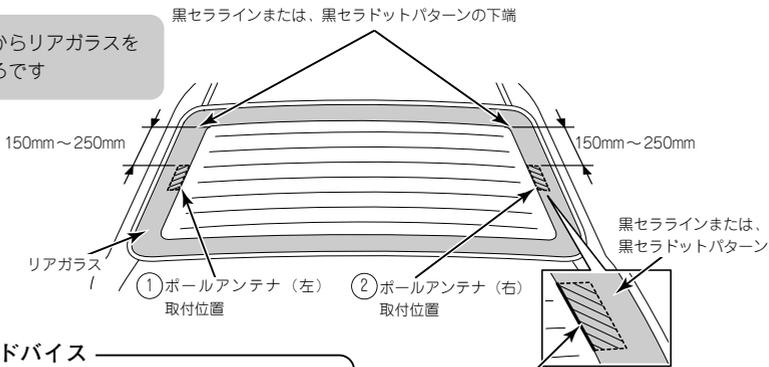
— アンテナ取り付け位置 —

以下の項目に注意して取付作業を行なってください

👉 アドバイス

ポールアンテナは、リアガラス外側へ取り付けてください。その他の場所への取り付けは行わないでください。

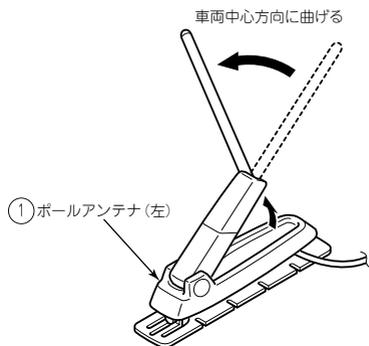
車両外側からリアガラスを見たところです



👉 アドバイス

- 車側へ取り付ける前に、アンテナ取付ブラケットをリヤガラス形状に合わせて曲げてください。
- ポールアンテナは、黒セララインまたは、黒セラドットパターンの下端から 150mm～200mm 程度離して位置を決めてください。
- アンテナ取付ブラケットの幅が、黒セララインまたは黒セラドットパターンの幅より狭い場合、黒セララインまたは黒セラドットパターンの内側のラインに合わせて取付位置を決めてください。
(アンテナ取付ブラケットの幅が、黒セララインまたは黒セラドットパターンの幅より広い場合は、黒セララインまたは黒セラドットパターンからはみ出しますが、性能上問題ありません。)
- ポールアンテナは、必ず車両中心にむくように折り曲げて使用してください。アンテナを折り曲げずに真っ直ぐなままで使用すると受信感度が、極端に低下します。

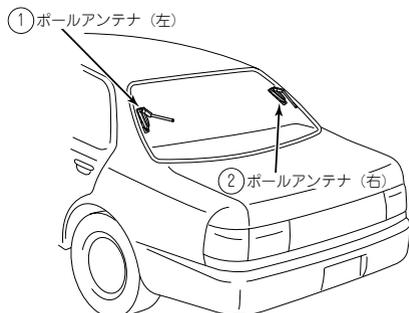
黒セララインまたは、黒セラドットパターンの車両中心方向の端に合わせ



- 1 ポールアンテナ (左、右) の取付位置を決める。

👉 アドバイス

アンテナ取付ブラケットの底面に L (左)・R (右) 表示があります。



—取り付け及び配線—

👉 アドバイス

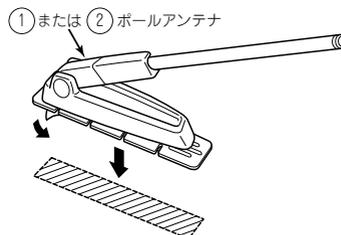
- ガラスの表面温度が低いとき（20℃以下）は、5分間程度リアガラス熱線スイッチ及び車内ヒータを入れ、暖めてから貼り付けてください。（粘着力を上げるため）
- アンテナ本体やコード等がリアワイパーの動作の妨げにならない位置に取り付けてください。
- リアガラスの曲面が大きい車は、なるべく曲面の小さい（平らな）場所に取り付けてください。取付ブラケットが十分に密着しない場合は、はがれる危険性があります。

- 1** 取付位置を決め、貼り付ける部分を付属のクリーナを使用して、汚れ、油分、水分等をふき取る。

- 2** 取付ブラケットのシートをはがし、リアガラスへ貼り付ける。

👉 アドバイス

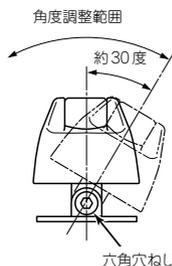
- 車側へ取り付ける前に、アンテナ取付ブラケットをリアガラス形状に合わせて曲げてください。
- 貼り付けた後は、確実に密着するよう十分押しつけてください。



- 3** 六角穴ねじを緩めると約30度の範囲までの角度調整ができます。

👉 アドバイス

- アンテナエレメントが車幅からはみ出さないように調整してください。
- アンテナエレメントの傾き調整には、付属の六角レンチを使用してください。



- 4** リアガラスにコードレールを貼り付けアンテナコードをトランク内側まで引き込む。

アドバイス

コードレールは、はさみ等で適当な長さに切って使用してください。

- 5** アンテナコードを防水クッションと両面テープではさみこみ固定する。

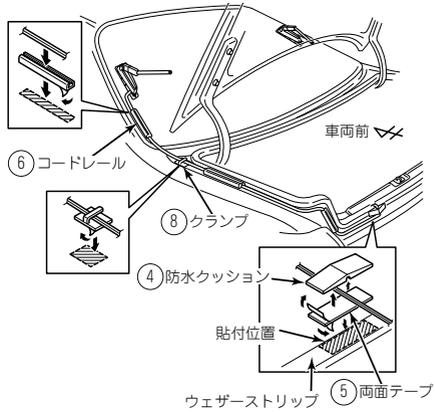
- 6** 防水クッションをウェザーストリップ上に貼り付ける。

- 7** アンテナコードをクランプ、バンドクランプ及びコードレールで固定しながら接続位置まで配線する。

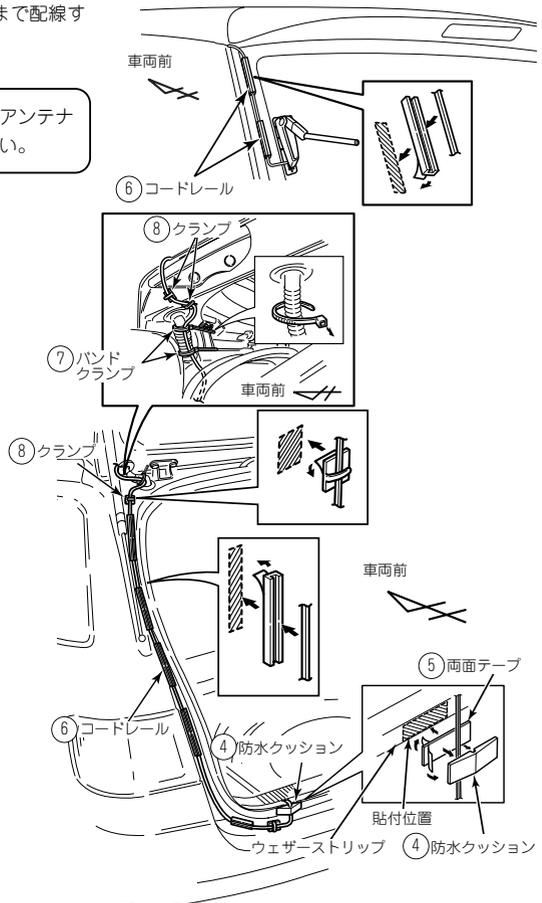
アドバイス

雨水等の侵入を防ぐためトランク部分のアンテナコード引き回しには十分注意してください。

—セダンタイプの場合—



—ハッチバックタイプの場合—



この説明書は、再生紙を使用しています。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

090003-2949B700
0709 (CN)